

★動詞の活用の種類は全部で何個あるの？

…活用の種類は、全部で9個あります。

	活用の種類	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
①	四段活用	a	i	u	u	e	e
②	上二段活用	i	i	u	u	u	i
③	下二段活用	e	e	u	u	e	e
④	上一段活用	i	i	い	い	i	i
⑤	下一段活用	け	け	ける	ける	けれ	けよ
⑥	カ行変格活用	こ	き	く	くる	くれ	こよ
⑦	サ行変格活用	せ	し	す	する	すれ	せよ
⑧	ナ行変格活用	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね
⑨	ラ行変格活用	ら	り	り	る	れ	れ

右の表は暗記しましょう！（英語で表記されている部分は母音を示しています。）

★9つの活用の種類はどうやって見分けけるの？

…次の手順を追って見分けましょう。

手順① 数の少ないもの（表の④～⑨）は動詞と活用語尾（活用表）を暗記！動詞を見て活用の種類を判断する。

・上一段活用…9つの動詞を暗記！

【干る】【射る（鑄る）】【着る】【煮る（似る）】【見る】【居る（率る）】のみ！暗記

☆暗記方法

ひ い き に み る (る)

・下一段活用…【蹴る】のみ！暗記

・カ行変格活用…【来】のみ！暗記

・サ行変格活用…【す】【おはす】のみ！暗記

・ナ行変格活用…【死ぬ】【往ぬ・去ぬ】のみ！暗記

カ・サ・ナ・ラ変 と覚える

・ラ行変格活用…【あり】【居り】【侍り】【いまそかり】のみ！暗記

手順② 数の多いもの（表の①～③）は「ず」をつけて未然形に活用させる。

その活用語尾が、ア段か、イ段か、エ段かを見て、四段活用か、上二段活用か、下二段活用かを判断する。

書く ↓ 書く+ず ↓ 書かず ↓ ア(a) 段 ↓ 四段活用

起く ↓ 起く+ず ↓ 起きず ↓ イ(i) 段 ↓ 上二段活用

受く ↓ 受く+ず ↓ 受けず ↓ エ(e) 段 ↓ 下二段活用

手順③ 活用する行、活用の種類が間違えやすいものに注意する。

さらに、上一段活用と上二段活用、下一段活用と下二段活用、それぞれの名称を間違えないように気をつけよう。